

テトラパックのベルマーク運動
リサイクル推進ありがとうキャンペーン



岡山県勝田郡 勝間田小学校

活動の狙い・ポイント：させられる活動→成果が目に見える活動→自主的な活動

活動の内容と、その成果

平成25年度から給食牛乳の納入業者が変わり、パックの回収がなくなったのを機に、子どもたちが主体となった回収を提案してみようと考えた。

- ① テトラパックの紙容器を集めるとベルマークの点数になることを子どもたちに伝え、保健給食委員会に「やってみない？」ともちかけてみる。
- ② 1箱に10kg以上詰めるのがルール。
- ③ 実際に自分達で詰めてみると、いろいろな問題に気づく。「きれいに洗ってないとかさい」「四角くきれいに開いてまとめてくれないと詰めにくい」「ストローのビニール袋が残っていると、自分たちで取り除かなければならなくて大変」
- ④ 「全クラスにお願いしたいことなので、月曜日の児童朝礼で委員会から発表したい」と委員長を中心に6年生が言い始める。
- ⑤ 「いいことだね」「いっぺんにたくさんお願いしたら小さい学年は忘れてしまうから、少しずつお願いしてみたら」「心配なら、原稿はチェックしてあげますよ」 先生の声かけはこれくらいで十分。

させられる活動を自主的な活動にしていく大人の視点を大切にしたい。



クラスごとにまとめた牛乳パックを大きな袋に入れていきます。



保健給食委員会が体重計とにらめっこしながら、11kgになるまで詰めていきます。